

平成23年度 学校だより



校訓：健康・創造・礼節

気仙沼市立小原木中学校

平成23年12月22日 No.12

よいお年をお迎えください！

Merry Christmas



灼熱の夏から、今は季節も移ろい雪の舞う冬、今日は終業式です。長い長いと思っていましたが、あっという間の2学期でした。その間、運動会に新人大会、文化祭など多くの行事を終え、一人一人の生徒は一回りも二回りも大きく成長しました。

今年は3月の大震災から平年とは大きく違った生活が始まり、学校でも平常な学校生活を目指して全職員で取り組み、今日を迎えることができました。これも保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

終業式で生徒が発表した2学期の反省、抱負についてお知らせいたします。

僕が今学期一番頑張ったことは何よりも勉強です。中でも社会の学習に力を入れました。これまでの定期考査では、思うような得点まで到達できず、悔しい思いをしてきました。今回は、先生からのアドバイスを参考に、ワークを解いたり、教科書の大事な部分をノートにまとめたりしました。その結果、期末考査では、今までにない良い点を取ることができました。苦手だと思っていた教科でも、努力すれば必ず力になるのだということがわかりました。冬休みには、苦手教科だけでなく、全部の教科を復習したいと思います。

その他に、冬休み中に頑張りたいことが2つあります。1つは習字です。2学期の国語の時間に「大志」という字を書いた際、クラスみんなが「上手い！」と褒めてくれました。その言葉がうれしくて、習字の募集にも立候補することにしました。冬休みには父に習字を見てもらい、たくさん練習したいと思います。

もう一つはスポーツです。冬は筋トレや走り込みなど体力作りが中心の部活動となります。家でも自主的にトレーニングを行い、来年の春に向けて、自分の身体を鍛えたいと思います。

勉強・習字・スポーツ、この三つを頑張り、充実した冬休みにしたいと考えています。

1学年代表 柏くん

2学期には、運動会や文化祭、職場体験学習、期末テストなど、行事がたくさんありました。その中でも、僕が印象に残った行事は、職場体験学習と期末テストです。

職場体験学習では、僕は男山本店さんに行きました。1日目は掃除や水くみ、お米運びを行い、2日目はお酒の箱詰め作業をしました。職場の方々から様々なことを教えていただきながら、仕事を行うことで、仕事の大変さ、職場の方々の仕事に対する熱意を実感することができました。2日間、本当によい経験となりました。

期末テストでは、自分の決めた目標点に達することができました。しかし、点数にばらつきがあり、苦手な教科はまだ満足いく点数ではありませんでした。今後は、自分なりに目標を決め、勉強方法を改善していきたいと思います。まずは、毎日提出している自主学習を工夫し、苦手な教科を克服できるように努力したいと思っています。

冬休み中には、普段より家で生活する時間がたくさんあります。テレビやゲーム、弟など誘惑もたくさんあります。しかし、遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強する、運動するときは運動する、といったメリハリをつけた生活を送りたいと思います。学習面では、冬休みの宿題の他にも、自主学習をしっかりと行い、苦手な数学や英語をしっかりと復習したいと考えています。特に英語では、単語の読み書きができるように頑張ります。

3学期の初めには実力テストもあります。今までは、実力テストにあまり力が入りませんでした。このテストでよいスタートが切れるように頑張りたいと思います。

2学年代表 吉田くん

当然のことですが1、2年生と違い私たち3年生にとってこの2学期という時間は中学校生活最後の2学期でした。その貴重な2学期という時間の中でいろいろなことがありました。楽しみにしていた修学旅行、全力で取り組んだ運動会、そして最後の文化祭、いっぱい思い出があります。しかしわたしはそれよりもっと大きなものに気づきました。

3年生教室の黒板の左の壁に美紀先生に貼ってもらった入試事務日程の用紙があります。その用紙には入試までの残りの日数が書かれています。1日が終わると残りの日数の上に2重線が引かれます。みんなと今まで、小学校から、長い人では保育園から一緒に生活してきました。しかし残りの日数が見えてくると別れの日が見えてきた気がして悲しくなります。日に日に増えていく二重線が嫌になります。

ごく普通に学校生活を送っているとき、わたしはふと気がついたのです。この何気ない会話や一緒に授業を受けること、同じ話題で笑うこと、こんな当たり前のことが実に幸せなことなのだ。今まで、ずっと一緒にいたために気づかなかったこの大切な『普通』。これこそが大切なものだと気づきました。

「当たり前が当たり前でなくなったとき、当たり前が恋しくなる。」この言葉は震災によってしみじみと理解することができました。このクラスの友達といることが今は当たり前のことですが、卒業してしまうと3年1組のことが恋しくてたまらなくなるかもしれません。だからこそ、後悔しないよう、卒業までの時間を大切にしていきたいと思っています。

そして3年生の目標「全員合格」を目指し入試に向けて勉強も頑張ります。3年生16名、美紀先生、大和先生そしていっと。全19名で卒業までの日々を突っ走ろうと思います。他の先生方や後輩たちには、まだまだ迷惑をかけると思いますが、お互いに頑張りましょう。思い出の過去、大切な今、そして輝くみんなの未来のために!

3学年代表 和泉くん



ボランティアさんとの座談会を開きました。

今週12月20日(火)に唐桑ボランティア団の方々をゲストとしてお迎えし、座談会を行いました。ボランティアのみなさんは、震災後に唐桑地区に入り、瓦礫の撤去や泥出しなどの住環境の整備、養殖筏や土俵づくりなどの漁業再生、ボランティアの受け入れ、募金活動のとりまとめなどを中心となって行っている方々です。

ボランティア活動の内容やそのときどきの苦労話などを聴き、子供たちは、郷土のことや地域の復興について思いを巡らせ、感謝の気持ちや将来の夢についてなどを語り合いながらグループ毎に模造紙にまとめていました。今日ボランティアさんと語り合い、様々なことを感じ、これからの将来について考えたことは、子供たちの心にいつまでも残るのではと思います。今日子供たちの心にまいていただいた種は、10年後、20年後に必ずや大きな花を咲かせてくれるものと思います。



お知らせ

※ テレビ放映されます。

3年生の吉田くんが10月に仙台市内で開催された「～ともに語ろう。未来への思い～中学生・高校生弁論大会」の様様を中心としたテレビ番組が

12月27日(火)TBC東北放送において、9:55～10:50
「響け!ぼくらのVOICE～ふるさと、未来、復興のメッセージ～」

という番組タイトルで放映されます。先日この番組の取材を吉田悦哉くんが受けましたので、当番組で放映される予定です。お時間のある方はぜひご試聴ください。



※ 夏休み以降ご支援をいただきました義援金や物品等について、別紙にてお知らせいたします。謹んで、ご支援をいただいた方に感謝を申し上げます。

※ 第3学期始業式について

始業式は 平成24年1月10日(火)です。

通常の始業時間に間に合うように登校させてください。

持ち物等について、「冬休みのしおり」や各学年の学級だよりを参照してください。

※ 大活躍

中学生人権作文コンテスト気仙沼地区大会

奨励賞 亀谷くん(3年)

奨励賞 星くん(3年)

